

議会運営委員会協議結果

日時：令和2年4月9日（木）
開会：午前10時00分
閉会：午前10時47分
場所：全員協議会室

1. ICT化推進プロジェクトの中間報告について

【沢田清副議長】これまでICTを進めて行こうという合意形成を議会運営委員会で行い、推進プロジェクトを立ち上げて検討してきました。今回は、ICT化推進の目的や議会改革に繋がっていくのかなどを報告させていただきました。今回は具体的に何を進めていきたいか報告させていただき、その内容について合意形成を図っていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。ICT化のメニューは資料に記載してありますが、本会議のインターネットによるライブ配信の実施をすることで、議場に来ていただかなくてもリアルタイムで本会議の内容を確認できるようになり、気になっていても議場に来れない方に役にたつと思ひます。情報端末の導入は、ペーパーレス化、必要な情報の提供・検索、日程調整、電子採決なども可能となると思ひます。ICT化の全体像としては、情報端末の導入後、市民に近い存在の市議会であるためにホームページのリニューアルも進めていきたいと思ひます。最終的には委員会のネット中継もできればと思ひていますが、相当な時間と労力を要すると思ひます。今回お願ひしたいのは、情報端末の導入、電子採決の導入、本会議のネット中継、ホームページのリニューアルまでをこの先進めていくという合意形成を図りたい、要は3か年の予算を取って進めていきたいとするものです。ICT化による削減効果の算出も資料として添付しましたので、事務局の担当より資料の説明をしてもらひます。

【石原義士議事課主事】削減効果の算出根拠を説明します。情報端末を導入した場合に削減できるものとして、予算書・決算書印刷製本費の議会分約20万円、議会事務局のペーパーレスに関する費用として、人件費、用紙代、コピー代で約82万7千円、当局のペーパーレスに関する費用（議員配布資料）として、人件費、用紙代、コピー代で約119万340円、合計で約221万7千340円を見込んでいます。金額的な削減効果の他、市役所外での活用、会議や打ち合わせの円滑化、電子採決の導入、そして今回のような災害時における活用も出来ると思ひます。削減効果と比べ導入に係る費用としては、市役所5階フロアにおけるWiFi拡張整備の概算費用として約246万4千円が必要と算出しています。安城市を例にランニングコストなどを記載していますので参考としてください。

【沢田清副議長】紙で削減できるのが約220万円、安城市を参考にするとランニングコストが約270万円ですが、効果を考えるとICT化を進めていきたいとするものです。

【渡辺昭司委員長】ICT化推進プロジェクトからの報告と今後進めていきたい内容の話がありましたが、確認したいことや質問がありましたらお願ひします。

【中川健一議員】資料の中身を確認しますが、WiFi整備に係る費用約246万円はイニシャルコストかということと、ランニングコストの約276万円は安城市の議員数を考えると約250万円がいいということですか。

【石原義士議事課主事】約246万円はイニシャルコストです。ランニングコストについては、安城市の台数34台を基に半田市議会の導入予定台数30台で割り戻して算出していますので、約276万円になります。

【中川健一議員】電子採決システムの導入コストはどれくらいですか。無いよりはあつた方がいいと思ひますが、あまり高いようでは考えないといけないと思ひます。

【石原義士議事課主事】安城市議会のランニングコストに電子採決の費用も含まれており、具体的に電子採決だけの費用は調べていません。

【渡辺昭司委員長】今後調べていく中で、電子採決のことだけで高いのなら、考える必要があると思います。

【久世孝宏委員】イニシャルコストに記載してあるW i F i 整備310万円と246万4千円の違いは何ですか。半田市バージョンのイニシャルコストはいくらになりますか。

【石原義士議事課主事】安城市の例に半田市のイニシャルコストをあてはめるとW i F i 整備の欄が246万4千円、安城市と同様の導入をすればグループウェア28万5千円と会議システム17万3千円は同等になると思いますので、合計で292万2千円になると思います。

【嶋崎昌弘委員】まだ3か年に上がっていないのに、情報端末の導入が令和3年度でいいのか、もう一度説明をお願いします。

【沢田清副議長】ご指摘のとおりまだ3か年に計上していませんので申し訳ございませんでした。新型コロナウイルス感染症で来年度以降税収がかなり落ち込む可能性もあり、当局の導入が遅れる可能性があるかと昨日聞きました。議会としては当局と導入時期を合わせて行いたいと考えています。

【嶋崎昌弘委員】今期中の導入になるのか、改選後になるのか、どちらでしょうか。

【沢田清副議長】個人的な考えになりますが、最終年度には情報端末を導入したいと思っています。

《休憩》

《再開》

【石川英之議長】細かい数字等はまだ算出出来ていませんが、先ほど副議長が説明した内容で進めていっていか皆さんで合意を得られた場合、5月臨時会後になると思いますが細かい数字も含めて詰めていくことになると思いますので、ご理解いただきたいと思います。

【渡辺昭司委員長】原則3か年に計上していく中での内容を協議していくという合意形成を、次回5月7日（木）開催の議会運営委員会で行うことでよろしかったでしょうか。
了承

2. 新型コロナウイルス感染症の対応について

【石川英之議長】愛知県知事から、県民に向け3つの密を避けて行動を抑制する注意喚起があります。半田市議会としてもこのような状況を踏まえ、対応策を考えていかなければならず別紙の案を作りました。新型コロナウイルス感染症の拡大が収束するまでの間、当面の措置として記載のとおりとしてはどうかという提案です。委員会についても案を記載しましたが、5月臨時会には各常任委員会に議案がある予定と聞いていますので、同時開催をせず1委員会毎に全員協議会室を使用して開催し、2日目に委員長報告から採決、常任委員会の中間報告、特別委員会の報告を行い、それ以降に役選に入っていく日程にしてはどうかと思いますのでご協議をお願いします。

【渡辺昭司委員長】別紙の案に関しては、3月議会の時も議会運営委員会で協議しましたが、議会としてルール付けがしてなかったのが、書面にして努めていきたいと思いますという内容です。ある程度最低限やらなければいけないものばかりという気もしますがいかがでしょうか。

【中川健一委員】本会議と委員会の所は工夫するという事でいいと思いますが、全員協議会をやらぬということは大きな変更になります。前回も言いましたが、できたらテレワークかネットで開催して、質問事項があったら何時迄に質問し回答も全員で共有するような質問と回答をやれたら、全員協議会を無くすのではなく、やり方を工夫したことになるのではと思います。

【石川英之議長】全員協議会は原則として開催せずということで、当局がどうしても開催したいということであれば開催することになると思います。今までどおりの全員協議会で

あれば、前回同様全議員に書類をメールで送付し、質問はしっかり受け、回答も全議員にお知らせしたいと思います。

【久世孝宏委員】会議に代わりメールでやり取りする規定を決めていませんので、全員協議会を開催したとは言えないと思いますが、前回のように質問も受け付け、回答も全議員に行い、記録に残すことは可能と思います。

《休憩》

《再開》

【渡辺昭司委員長】全員協議会については、メールで資料の配付、質疑、回答を行い、議員間の情報共有を図ることで原則開催しないこととしてよろしいでしょうか。

了承

【渡辺昭司委員長】5月臨時議会の日程については、通常ですと委員会を同時開催していますが、同時開催しますと3密を避けるような委員会開催ができませんので、時間をずらし全員協議会室で最低限の人数で行う予定を考えています。初日午前10時30分総務委員会、午後1時文教厚生委員会、午後3時建設産業委員会、2日目の最初に委員長報告、質疑、討論、採決を行う予定となりますがいかがでしょうか。

【石川英之議長】臨時議会の日程については、5月7日（木）の議会運営委員会で正式に決定していただければ結構ですので、各会派に持ち帰ってください。今日、明日にでも愛知県に緊急事態宣言が出されるかもしれませんので、もしかしたら6月定例会の一般質問を取りやめるとか色んな事を含めて日程を考えなければいけないことを想定していただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

【渡辺昭司委員長】5月臨時議会については、時間差をつけて常任委員会を開催する可能性もあるということを各会派の皆さまにお伝えしていただき、5月7日（木）開催の議会運営委員会で決めるということでもよろしかったでしょうか。

了承

3. その他

なし